

## 設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

## ①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

## ②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(190003-0)

本 工 事 費 総 括 表								
工種：開削工事及び小口径推進工事等								
費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
	共通仮設費 積上額計			式	1			
		運搬費		式	1			
			水道運搬費	式	1			第9号明細表, A5100//1
		技術管理費		式	1			
			水道検査費	式	1			第10号明細表, A7100//1
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								

(190003-0)

## 本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			
		契約保証費		式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			
本工事費								

「週休2日取得モデル工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和6年4月以降

## 間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前)

算定式  $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = ( 共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数 ) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前)

算定式  $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = ( 現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数 ) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあたっては、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

## ◎留意事項

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・機械経費(賃料)・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。

なお、労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者(下水道)とすることから、見積と記載のある労務単価(ステンレス溶接工等)及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)並びに水道X線検査工の一部労務費(技師A及び技師B)は補正対象外となる。

また、予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日取得モデル工事(現場閉所型)」(令和6年4月試行)実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

# 間 接 工 事 明 細 書 (当初)

令和6年度(春) 基準適用  
週休2日補正有 R 6 年度[春] 単価適用  
週休2日(4週8休)適用地区：上越②

費 目	計 算 根 拠 式
共通仮設費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times ( \text{ } \% \times \text{ } ) \times \text{ } \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} + \text{事業損失防止施設費} + \text{処分費} (\text{準備費}) - \text{処分費控除額} \\ &\quad + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - ( \text{ } / 2) + \text{ } - ( \text{ } / 2) \\ &\quad + \text{ } + \text{ } + \text{ } - \text{ } \\ &\quad + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{処分費控除額} &= \text{処分費等} (\text{直工} + \text{準備}) \div \text{対象額} = \text{構成比} < > 3\% \\ &\div \text{ } = \text{ } \% < > 3\% \end{aligned}$
現場環境改善費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times ( \text{ } \% + \text{ } \% ) \times \text{ } \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) - \text{処分費等} (\text{直工}) + \text{支給品費} \\ &\quad - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) + \text{無償貸付機械等評価} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - ( \text{ } / 2) - \text{ } + \text{ } \\ &\quad - ( \text{ } / 2) + \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$
現場管理費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象純工事費} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正} + \text{冬期補正率}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times ( \text{ } \% \times \text{ } + \text{ } \% ) \times \text{ } \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象純工事費} &= \text{純工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - ( \text{ } / 2) + \text{ } - ( \text{ } / 2) \\ &\quad + \text{ } - \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$
一般管理費 (率計算額) 契約保証費	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象工事原価} \times (\text{標準率} \times \text{前払補正率}) \times \text{係数} - \text{端数調整額} \\ &= \text{ } \times ( \text{ } \% \times \text{ } ) \times \text{ } - \text{ } \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{契約保証費} &= \text{対象工事原価} \times \text{契約保証補正} \\ &= \text{ } \times \text{ } \% \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象工事原価} &= \text{工事原価} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$

週休2日補正係数 地域補正係数	
施工地域・工事場所区分	補正係数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	○
市街地	
山間僻地及び離島	

前払補正率				
前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下
補正係数				
※35%超40%以下 (補正なし)の場合 ○				
契約保証補正率 %				
保証の方法		補正值(%)		
金銭的保証		○		
役務的保証				

(190003-0)

## 直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本設水道DC(NS) φ700								Y10101//1
	材料費		本設DC(NS) φ700 L=67.2m	式	1			第1号明細表, AZ0102//1
	布設費		本設DC(NS) φ700 L=67.2m	式	1			第2号明細表, AZ0104//1
	土木費		本設DC(NS) φ700 L=67.2m	式	1			第3号明細表, AZ0103//1
不断水分岐工事								Y10301//1
	材料費		不断水分岐工事 N=1箇所	式	1			第4号明細表, AZ0302//1
	布設費		不断水分岐工事 N=1箇所	式	1			第5号明細表, AZ0304//1
	土木費		不断水分岐工事 N=1箇所	式	1			第6号明細表, AZ0303//1
直接仮設費(水道)								Y2000//1
	水道直接仮設費			式	1			第7号明細表, A2100//1
	水道交通誘導員			式	1			第8号明細表, A3100//1
直接工事費計								

(190003-0)

第1号明細表の1 AZ0102-0000-01							種別： 本設DC (NS) φ 700    L=67. 2m 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
DCIP (NS S種) 直管:内面ボール粉体		700mm×6000	本	12			DB11700 見積	
DCIP (NS) 曲管 45° : (内面粉体)		700mm	個	2			DBA0700 見積	
DCIP (NS) 曲管 11° 1/4: (内面粉体)		700mm	個	2			DBC0700 見積	
DCIP (NS) 継輪:内面粉体		700mm	個	1			DBJ0700 見積	
NS形継輪用 二ツ割離脱防止押輪		φ 700	個	1			F1020//1 見積	
NS形用切管用挿口リング (リベットねじタイプ)		700mm	組	5			DNC0700 見積	
NS形用ライナ:内面粉体・付属部品付		700mm	組	6			DNE0700 見積	
長ボルトナット		700mm    二ツ割離脱防止押輪用	組	2			F1010//1 見積	
白六角ニップル		100A	個	1			GBC0100 刊行物	
白エルボ 90°		100A	個	1			GB70100 刊行物	
白ブラケット		100A	個	1			GBE0100 刊行物	
TS-VP		100mm	m.	1. 5			V110100 刊行物	

(190003-0)

第1号明細表の2  
AZ0102-0000-01

材料費 1式当り明細表

種別： 本設DC (NS) φ 700 L=67. 2m  
形状：  
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
TS ハﾟﾙﾌﾟソケット	100mm	個	2			V151100 刊行物
スリースﾊﾟﾙﾌﾟ (125)	100A	個	1			F0K0100 見積
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			



(190003-0)

第2号明細表の1 AZ0104-0000-01							種別：	本設DC (NS) φ 700 L=67.2m
AZ0104-0000-01							形状：	
AZ0104-0000-01							備考：	
名	称	規	格	単位	数	量	単	価
金	額	摘	要					
铸铁管吊込み据付工(機械)		呼び径 φ 700mm		m	67.2			
N S 継手接合工		直管 φ 700mm		口	6			
N S 継手接合工		うけ直管 φ 700mm		口	6			
N S 継手接合工		異形管 φ 700mm		口	7			
N S 継手挿口加工工		φ 700 リベット式		口	5			
铸铁管切断・溝切り加工工 (NS・S・KF・UF)		切断・溝切り2工程 φ 700mm N S 形		口	5			
铸铁管継手取外し工		NS形 異形管 700mm		口	1			
ロケティンクワイヤー(铸铁管)				m	67.2			
埋設表示シート布設 (水道管)		(リサイクル品)		m	67.2			
管明示テープ工(水道・铸铁管用)		φ 700×6m 胴巻4箇所 天端明示有り		m	67.2			
ポリエチレンスリーブ被覆工		700mm 固定バンド		m	67.2			
铸铁管切断工		φ 700mm (ハイ切削切断機)		口	3			

(190003-0)

第2号明細表の2

AZ0104-0000-01

布設費

1式当り明細表

種別： 本設DC (NS) φ 700 L=67. 2m

形状：

備考：

名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
鑄鉄管撤去工(機械)		呼び径700mm		m	1.5						第13号表, SS0111//1 水道事業実務必携	
鑄鉄管処理費		鑄鉄管 処分先A		t	0.4						第14号表, SX0200//1 独自代価	
メカニカル継手工		700mm K形 特殊継手		口	4						第15号表, SX0130//2 水道事業実務必携	
小口径鋼管継手工		ねじ込み接合 φ 100mm		口	5						第16号表, SS0220//3 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管据付工		φ 100mm		m	1.5						第17号表, SS0320//1 水道事業実務必携	
T S継手工		φ 100mm		口	2						第18号表, SS0330//1 水道事業実務必携	
バルブ設置工(人力)		φ 100mm		基	1						第19号表, SX0605//1 独自代価	
共通円形BOX設置工(祓式)				基	1						第20号表, SX0615//1 独自代価	
合	計			式	1							
単	位	当	り		1							

(190003-0)

第3号明細表の1 AZ0103-0000-01							種別： 本設DC (NS) φ 700    L=67.2m 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
床掘り 土砂		現場制約あり	m3	5			第21号表, SP12110//1 県積算基準	
舗装版切断 アスファルト舗装版		舗装厚:15cm以下	m	130			第22号表, SP1D210//1 県積算基準	
バックホウ掘削積込		BH クローラ型 山積0.45m3排ガス1次	m3	350			第23号表, SS1000//1 水道事業実務必携	
舗装版取り壊し積込工		0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0.45m3排ガス1次	m2	120			第24号表, SS1040//1 水道事業実務必携	
路床工(流用土)		山積0.45m3 1層max仕上厚20cm	m3	16			第25号表, SX1300//1 複合代価(水道事業実務必携)	
路床工(改良土20(改良土D))		山積0.45m3 D I D区域外 0.5km 10t積 1層max仕上厚20cm	m3	290			第26号表, SH1300//1 複合代価(水道事業実務必携)	
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工		バックホウ 山積0.45m3 10t積 L=3.5km D I D区域外 廃材プラント (0)	m3	6			第27号表, SXG0020//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
発生土処理		バックホウ 山積0.45m3 10t積 L=18.5km 改良分 D I D区域外	m3	290			第28号表, SXG0030//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
発生土処理		バックホウ 山積0.45m3 10t積 L=18.5km 発生土処分先(D) D I D区域外	m3	53			第29号表, SXG0030//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
上層路盤工		仕上り厚 12cm 1層(幅1.8m未満) 粒調砕石 M-40	m2	112			第30号表, SY1050//1 水道事業実務必携	
下層路盤工		仕上り厚 12cm 1層(幅1.8m未満) ARC 40 (RC混合)	m2	112			第31号表, SY1050//2 水道事業実務必携	
下層路盤工		仕上り厚 24cm 2層(幅1.8m未満) ARC 40 (RC混合)	m2	8			第32号表, SY1050//3 水道事業実務必携	

(190003-0)

第3号明細表の2  
AZ0103-0000-01

土木費 1式当り明細表

種別： 本設DC(NS) φ 700 L=67.2m  
形状：  
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層工(人力施工)	粗粒度アスコン (20) 瀝青材散布なし 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	8			第33号表, SY1070//1 水道事業実務必携
表層工(人力施工)	密粒度アスコン (新20FH) プライムコート 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	112			第34号表, SY1070//2 水道事業実務必携
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(190003-0)

第4号明細表  
AZ0302-0000-01

材料費 1式当り明細表

種別： 不断水分岐工事 N=1箇所  
形状：  
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
インサ一切換弁	φ 700× φ 700 90度分岐管挿し口 (NS形)	基	1			F1000//1 見積
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(190003-0)

第5号明細表 AZ0304-0000-01		布設費 1式当り明細表					種別： 不断水分岐工事 N=1箇所 形状： 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
インサ一切換弁設置工		φ 700× φ 700		箇所	1			F2000//1 見積
合 計				式	1			
単 位 当 り					1			

(190003-0)

第6号明細表 AZ0303-0000-01		土木費 1式当り明細表					種別： 不断水分岐工事 N=1箇所 形状： 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設土留工		鋼矢板 L=10.5m 5.6m×5.8m 市道部		式	1			F3000//1 見積
コンクリート 無筋・鉄筋構造物		人力打設18-8-25(20) W/C≦65% (高炉) 一般養生 小運搬無		m3	25			第35号表, SPZ5010//5 県積算基準
型枠		一般型枠 鉄筋・無筋構造物		m2	22			第36号表, SP15110//1 県積算基準
合 計				式	1			
単 位 当 り					1			

(190003-0)

<div> <div>第7号明細表 A2100-0000-01</div> <div>水道直接仮設費 1式当り明細表</div> <div>種別： 形状： 備考：</div> </div>						
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水替工	50m/m 水中ポンプ	日	1			第37号表, SX0900//1 県積算基準
ポンプ据付撤去	50m/m	箇所	1			第38号表, SX0901//1 県積算基準
軽量鋼矢板たて込み引抜き(機械施工)	掘削深2.5m以下 設置+撤去 設置BH0.28 2次、撤去BH0.28 2次	m	39.2			第39号表, SY0020//1 水道事業実務必携
軽量鋼矢板たて込み引抜き(機械施工)	掘削深3.0m以下 設置+撤去 設置BH0.28 2次、撤去BH0.28 2次	m	17.8			第40号表, SY0020//3 水道事業実務必携
支保工(軽量金属製)	掘削深3.5m以下(2段) 設置+撤去 軽量金属腹起し/水圧試験0.9m超～1.1m以下	m	3			第41号表, SY0060//2 水道事業実務必携
支保工(軽量金属製)	掘削深3.5m以下(2段) 設置+撤去 軽量金属腹起し/水圧試験1.1m超～1.5m以下	m	54			第42号表, SY0060//1 水道事業実務必携
鋼矢板・軽量鋼矢板賃料	軽量鋼矢板 使用回数1回 重量2.4t 補助工法無	式	1			第43号表, SX0800//1 供用日数7日 実務必携・県積算基準
鋼矢板・軽量鋼矢板賃料	軽量鋼矢板 使用回数4回 重量1.1t 補助工法無	式	1			第44号表, SX0800//2 供用日数7日 実務必携・県積算基準
鋼矢板・軽量鋼矢板賃料	軽量鋼矢板 使用回数10回 重量0.9t 補助工法無	式	1			第45号表, SX0800//3 供用日数15日 実務必携・県積算基準
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			



(190003-0)

第8号明細表  
A3100-0000-01

水道交通誘導員 1式当り明細表

種別：  
形状：  
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B	実働9時間(交替要員有り)	人	80			R4400/2 県単価(RR0804)
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(190003-0)

第9号明細表  
A5100-0000-01

水道運搬費 1式当り明細表

種別：  
形状：  
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材積込・取卸し費	基地積込→現場→基地取卸	t	4.3			第61号表, SY9800//1 水道事業実務必携
仮設材運搬	割増なし 12m以内 運搬距離20kmまで	t	8.6			第62号表, SY9700//1 水道事業実務必携
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(190003-0)

第10号明細表 A7100-0000-01		水道検査費 1式当り明細表				種別： 形状： 備考：
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
通水試験工(1日未満)	既設管と連絡して給水車が不要 φ 700～φ 800	m	67.2			第63号表, SS0705//1 水道事業実務必携
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			